

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市台原老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～平成31年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》  平成29年度 33,020人（前年度比 31.9%）※H29.8～大規模修繕工事のため休館  平成28年度 103,392人（前年度比 95.9%）  平成27年度 107,769人（前年度比 110.1%）</p> <p>《事業》健康相談・生活相談(2,147件)、愛好会等への貸室(延べ611件)、趣味の体験教室(8回開催12名参加)、台原ミニギャラリー、森の音楽会(3回延べ105名観覧)、お楽しみ映画会(4回延べ108名観覧)、台原パソコン教室(2回計23名参加)、台原デジカメ講座(全3回延べ42名参加)、やさしい健康マージャン教室(全15回延べ810名参加)、台原健康セミナー(3回延べ54名参加)、介護予防運動教室(延べ202名参加)、げんき達者！運動教室(全8回延べ138名参加)、ゆるりヨガ講座(全3回延べ33名参加)、若さを保つ体幹トレーニング(全3回延べ49名参加)、終活セミナー(22名参加)、シニア健康運動教室(全3回延べ37名参加)、シニア市民講座(9名参加)、地域の支え合いを考える集い(25名参加)、将棋・囲碁を通じた世代間交流事業(2回延べシニア18名、子ども51名参加)、センターだより「なごみの森」発行(月1回)、障害者施設の授産品販売(市内5施設各月1～2回)他</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に支払った費用 37,740千円 (68,102千円)</li> <li>その他市が負担した費用 71,433千円 (14,484千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》  利用者アンケート1回、苦情解決相談窓口開設1回、意見箱の設置（大規模修繕工事に伴う休館前の4～7月）、運営委員会3回（利用者参加）、利用団体代表者情報交換会1回</p>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえで心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	S
II 施設の運営管理体制	職員体制については、大規模修繕工事に伴う休館を踏まえ、必要数を精査の上配置されており、各職員毎の役割分担も明確に行われている。 日常的な業務運営では、始業時に毎時朝礼を行い、他の職員の業務状況の把握に努めるほか、経理処理に関連した書類作成等も適正に行われている。個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めると共に、職員への周知、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 平成29年度は大規模修繕工事の実施により、8月以降仮事務所を設置して、一部機能を継続する形となったが、適切に対応している。	S
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建物等の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	S
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。 大規模修繕工事の実施にあたって、利用者への事前周知の他、工事期間中も毎月発行しているセンターだよりにより適宜進捗状況を掲載するなど、利用者への情報提供、配慮等に努めている。 他の老人福祉センターと連携し、従前の利用団体が他のセンターで活動希望がある場合には調整を図るなど、利用者本位の運営に努めている。	S
V 施設固有の基準	例年通り合同演芸交流会において、高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行ない、利用者の主体的な企画実施に対する支援を行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会も継続的に開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>平成29年度の運営にあたっては、</p> <p>(1) 各種相談への対応、愛好会・同好会や各種行事等の開催を通じた高齢者の健康・生きがいづくりへの支援</p> <p>(2) 利用者の声を反映した、利用者に信頼され満足いただける質の高いサービスの提供</p> <p>(3) 市民に公平で、効率的かつ安定的・継続的な管理運営</p> <p>という、公の施設である老人福祉センターに共通する管理運営方針に加え、指定管理者である仙台市社会福祉協議会の活動の基本理念である「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を具現する場にも位置づけながら運営を行うとともに、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて、高齢者の社会参加・社会貢献、地域におけるボランティア育成への支援や、介護予防に資する各種講座の実施、市民に対する認知症への理解促進及び認知症の方とその家族への支援、地域における各種関係機関との連携・協働の推進などの取組みについて、介護保険制度改正に伴う地域状況を踏まえながら、老人福祉センターが地域包括ケアシステム構築に寄与できるよう、本会のこれまでの実績や組織力・情報力を最大限に生かした事業運営に努めた。</p> <p>また、当センターは、施設の大規模修繕工事に伴い平成29年8月から休館することとなったが、休館までの期間、利用者への丁寧な説明に努めながら、円滑に休館及び工事に入れるよう準備を進めるとともに、休館中も、仮事務所を設け、上記に関連する各種事業を進めるとともに、施設再開後に向けて、利用団体間のつながりづくりや貸室ルールの見直し、工事にかかる各種連絡調整等を着実に実施した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営について、協定書及び仕様書等に従って適切・良好に行われた。</p> <p>台原老人福祉センターは、平成29年8月から施設長寿命化のための大規模修繕工事を実施し、工事期間中は休館したが、仮事務所を設置してセンターの機能を一部継続させると共に、工事に関する関係者との連絡調整やセンター内備品の搬出業務等、通常の指定管理業務とは異なる業務について本市と協議し、協定書及び覚書で定めた上で、連携を密にしながら着実に遂行した。</p> <p>休館中はセンターの諸室が使用できず、センター主催行事が大幅に制限される中、別途会場を確保しての講座開催を行った他、従前の利用団体の活動継続への支援、貸室ルールの見直しにも積極的に取り組み、再開後のより良いサービス提供に向けて意欲的に管理運営に努めていると認められ、総合的に高く評価できる。</p>	S